

## 6. 地域政策

### 中部地域

#### ◇意欲ある多様な担い手の確保と育成

##### 取組方向

農業関係機関・団体等の連携により就農支援体制を強化します。

認定農業者への農地集積や効率的・持続的な農業経営を行うことができる環境を整備します。そのために集落営農組織の法人化支援と法人設立後の支援を行います。また、農業経営改善計画の認定を進めるとともに、認定農業者の経営管理能力の向上を図ります。

##### 主な取組内容

- 研修受入れ農家の確保や研修会の開催により、新規就農者の地域への定着や経営安定を支援します。
- 簿記講習会をはじめ、各種経営セミナーを開催し、認定農業者の経営管理能力の向上を支援します。
- 未法人化の集落営農組合に対しては、引き続き法人化の推進を行うとともに、法人化した組織に対しては、管理マニュアルの作成や各種研修会等体質強化に向けた支援を行います。

##### 代表的な指標

指標名	単位	H22 実績	H23 実績	H24 目標	H27 目標
新規就農者数	人	63	80	51	51
法人化組織数	組織	37	45	76	76

#### ◇野菜生産の拡大と経営基盤の強化

##### 取組方向

野菜の生産・販売戦略を持った産地づくりを実現するため、各JAごとの野菜振興プロジェクト会議等を核に関係機関が一体となり、県重点品目や地域推進品目等の生産規模拡大への取組を進めます。

また、産地の認知度・信頼性向上を図るため、販売・流通促進への取組を支援します。

##### 主な取組内容

- 他業種からの新規参入者や定年帰農者等による新たな担い手の確保・育成や労働力確保のための雇用労力活用、作業受委託による分業化の導入を進めます。
- 生産・収穫調製等の作業工程に応じた省力化技術を導入することにより、作業効率の向上と生産規模拡大を進めます。
- 食の安全・安心への取組として、生産履歴記帳や農業生産工程管理(GAP)手法の導入を進めるとともに、野菜の安全性を確保するため、放射性物質検査を実施します。
- 生産者と消費者等の交流など、消費宣伝活動の取組を支援します。

##### 代表的な指標

指標名	単位	H22 実績	H23 実績	H24 目標	H27 目標
県重点品目作付面積	ha	2,094	未調査 (24年10月集計)	2,118	2,188
地域推進品目農協取出货量	t	3,859	2,363 (11月末数値)	4,919	5,013
GAPへの地域取り組み目数	数	5	5	6	8

※県重点8品目(きゅうり、トマト、なす、いちご、キャベツ、ほうれんそう、レタス、ねぎ)  
中部地域推進品目(ちんげんさい、えだまめ、ブロッコリー、パプリカ、にら)

## ◇畜産生産基盤及び経営体質の強化

### 取組方向

家畜や生産物の安全性の確保を図り、適正な飼養衛生管理を推進します。  
また、飼料作物生産組織や地域型コントラクターの育成・強化を図るとともに自給飼料の生産拡大を推進します。さらに、畜産農家と耕種農家の連携による循環型農業を確立するため、たい肥の地域内流通を促進し、稲わら等の有効活用による耕畜連携を推進します。

### 主な取組内容

- 生乳の安全性や効率的な飼養衛生管理を推進するため、農場の牛群検定加入率を高め乳質改善や適正な飼料給与により健康的で生涯生産性の高い牛群構成の推進を図ります。
- 特定家畜伝染病等の初動防疫には、関係者との緊密な連携と役割分担が重要となるため、防疫演習等を通じ関係者への周知を図ります。
- 畜産農家と耕種農家との連携による地域循環型農業を確立するため、良質たい肥生産の指導及び飼料イネ等の粗飼料増産を推進します。
- 飼料作物生産組織や地域におけるコントラクター組織の育成と強化を図り、飼料イネやトウモロコシ等の自給飼料の生産拡大と生産効率の向上を図ります。
- 畜産物の安全性を確保するため、生乳、牛肉、自給飼料等の放射性物質検査を実施します。

### 代表的な指標

指標名	単位	H22 実績	H23 実績	H24 目標	H27 目標
牛群検定加入率	%	32.8	33.1	34.5	39.0
自給飼料作付面積	ha	3,000	3,024	3,066	3,190

## ◇農地の有効活用による自給率向上

### 取組方向

地域型コントラクターによる飼料イネの定着と生産安定を図るとともに、麦類の生産安定と「さとのそら」を中心としてGAPを導入します。また、耕作放棄地の再生利用を図るため、地域担い手育成総合支援協議会が中心となり、耕作放棄地の現状・情報を整理し、関係機関と連携して担い手への集積等に取り組みます。鳥獣被害防止対策としては、集落単位で対策が進むよう人材育成を支援します。

### 主な取組内容

- 飼料イネの定着と生産安定を目的として、耕畜連携による需給のマッチング調整及び収穫作業等の主体となる地域型コントラクター組織の育成・強化の取組を進めます。
- 本県産麦類の安定供給を目的として、品質・収量向上対策を講じるとともに、「さとのそら」を中心として、GAP導入の取組を進めます。また、米麦の安全性を確保するため、放射性物質検査を実施します。
- 耕作放棄地の解消を目的として、関係機関による情報共有、データベース化を図り、担い手への集積等による再生利用への取組を進めます。
- 鳥獣被害防止を目的として、集落単位による防護柵等の設置やわな猟免許取得の啓発、指導・技術者等の人材育成への取組を進めます。

### 代表的な指標

指標名	単位	H22 実績	H23 実績	H24 目標	H27 目標
飼料イネ作付面積	ha	142.0	215.2		190.8
麦作付面積	ha	3,648		3,807	4,125
耕作放棄地解消面積	ha	217	228.4		285

◇観光資源を活かした地域農業の振興と地産地消・食育の推進

取組方向

伊香保温泉旅館等での地域農産物の供給拡大を推進します。赤城山地域振興プロジェクトと連携し、直売所・果樹園等を核とした観光農業を推進します。農産物直売所に対応した少量多品目生産を推進し、観光農園の品質向上を図ります。地域農産物の利用促進を図るため地産地消に取り組み、また、教育や農業団体との連携による食農教育を推進します。

主な取組内容

- 伊香保温泉周辺での観光と結び付いた農業を推進するため、渋川広域農業活性化協議会を核に市町村、農業団体、観光関係団体が一体となって、地域農産物の流通、特産物生産、グリーンツーリズムなどに取り組みます。
- 市町村、JA、関係機関と連携し、県内外において県産農産物の安全性のPRを行い、放射性物質による風評被害を払拭するとともに、直売所・観光果樹園等の情報を発信することにより観光客の増加を目指します。
- 魅力的な農産加工品開発、直売所運営のための研修を開催し、農産物の高付加価値化に取り組む農村起業の活動を支援します。
- ぐんま地産地消推進店、ぐんま地産地消協力企業の認定を推進し、地産地消についてPRを行います。

代表的な指標

指標名	単位	H22実績	H23実績	H24目標	H27目標
伊香保温泉での地域農産物利用額	万円	1,100	578 (11月)	1,300	1,600
ぐんま地産地消推進店	件	100	108	110	140

◇地域特産農産物の生産振興

取組方向

こんにゃくの輪作や優良新品種みやままさりの普及を図るとともに、越冬栽培などの新技術の導入により、環境に配慮した栽培を推進します。

きのこは生産コスト削減や施設などの近代化に向けた再整備を推進します。また、安全なきのこを求める消費者の声に応えるため、生産者団体が行う安全生産への取組を支援します。

主な取組内容

- こんにゃく研究会の活動支援を行い、生産現場の課題解決と産地の活性化を進めます。また、他作物との輪作や優良品種導入により化学農薬や化学肥料の使用を抑え、環境への配慮とともに省力化低コスト栽培を推進します。
- こんにゃくの消費拡大などのPR活動を行い、日本一のこんにゃく産地としてのブランド化を進めます。
- きのこの生産安定を図るため、ほだ場診断、栽培技術研修等の実施や、病虫害被害対策への支援を行います。また、きのこの生産コスト削減・省力化を図るため、生産基盤・施設等の再整備や原木の共同購入支援を進めます。
- 安全なきのこ生産に向けて栽培日誌の記帳及び適正表示の徹底を進めるとともに、きのこ消費宣伝の取り組み等を支援します。
- こんにゃく、きのこの等の安全性を確保するため、放射性物質検査を実施します。

代表的な指標

指標名	単位	H22実績	H23実績	H24目標	H27目標
みやままさり作付面積	ha	114		165	295
きのこ類の生産量	t	3,208		7,121	7,856

## ◇農業生産基盤の保全・整備

## 取組方向

基幹農業水利施設について、ストックマネジメントの手法による整備を推進し、ライフサイクルコストの低減と施設の長寿命化を図ります。洪川市赤城町の赤城西麓地区や伊勢崎市境地域の基盤整備により担い手への農地集積を図ります。地域の状況に応じた多様な主体の参加を得て、施設の適切な維持管理と農業用水の有効利用を図る協働活動を推進します。

## 主な取組内容

- 老朽化している基幹農業水利施設について、劣化状況や機能低下状況に応じた機能保全計画を策定し保全対策を実施します。
- 洪川市赤城町の赤城西麓地区や伊勢崎市境地域の未整備の畑地帯について、事業検討会や営農検討会等を開催し、ニーズを把握したうえで、基盤整備を実施します。
- 農地・水保全管理支払については、事業説明会を実施し推進を図ります。また、事業実施組織に対しては、面談等を行いフォローアップを行います。

## 代表的な指標

指標名	単位	H22 実績	H23 実績	H24 目標	H27 目標
保全対策により農業用水の安定供給が維持される農地面積	ha	119	409	2011	5,091
生産基盤の整備面積	ha	—	6	16	143